

韓國日本語學會

第41回 國際學術發表大會

< 主 題 >

ICT技術と融合する日本語学研究のフロンティア

< 基調講演 I >

機械翻訳のしくみ、翻訳との違い

藤田 篤(国立研究開発法人情報通信研究機構)

< 基調講演 II >

多言語に対応した計量テキスト分析ソフトウェアKH Coder
—アンケート自由回答の分析から言語学的分析まで—

樋口耕一(立命館大)

- ・日時：2020年 9月 19日(土)
- ・場所：漢陽Cyber大學校 HIT 310號
(ZOOMを利用したオンライン学術大会)
- ・主催：韓國日本語學會, 漢陽Cyber大學校, 韓國日本語研究會,
日韓コミュニケーション研究会, 韓国OPI研究会
- ・主管：韓國日本語學會
- ・後援：漢陽Cyber大學校 産學協力團, JAPAN FOUNDATION SEOUL,
時事日本語社



韓國日本語學會
The Japanese Language Association of Korea

韓國日本語學會

第41・42回 國際學術發表大會

- 日時：2020年 9月 19日(土)
- 場所：漢陽Cyber大學校 HIT 310號
(ZOOMを利用したオンライン学術大会)

< Program >

12:00-12:10	▪ 開會式 <司會：孫榮奭(濟州大)> 開會辭：黃永熙 會長(漢陽Cyber大) 祝 辭：加藤 剛 所長 (日本國際交流基金Seoul文化Center)		各發表場のURLは 9月18日(土)に 學會ホームページ に掲示 http://www.jlak.or.kr
12:10-14:50	▪ 一般發表	・第1發表會場 ・第2發表會場 ・第3發表會場 ・第4發表會場	
14:50-15:00	休息		
15:00-15:10	▪ 研究倫理講演 <司會：朴江訓(全州大)> 盧姓鉉(徳成女大)		
15:10-15:50	▪ 基調講演 I <司會：孫榮奭(濟州大)> 藤田 篤(国立研究開発法人情報通信研究機構)		
15:50-16:30	▪ 基調講演 II <司會：孫榮奭(濟州大)> 樋口耕一(立命館大)		
16:30-16:50	▪ 総合討論 討論：李朱利愛(梨花女大) 張元哉(啓明大)		
16:50-17:00	休息		
17:00-18:40	▪ 企劃發表	・第1發表會場 ・第2發表會場 ・第3發表會場 ・第4發表會場 ・第5發表會場	
18:40	閉會		

韓 國 日 本 語 學 會

第41・42回 國際學術發表大會

- 日時：2020年 9月 19日(土)
- 場所：ZOOMを利用したオンライン学術大会

<Program及び発表場別URL>

12:00-12:10	▪ 開會式 https://us02web.zoom.us/j/83518542357
12:10-14:50	▪ 一般発表 ・第1発表会場 https://us02web.zoom.us/j/85422044157 ・第2発表会場 https://us02web.zoom.us/j/83969173227 ・第3発表会場 https://us02web.zoom.us/j/83572511608 ・第4発表会場 https://us02web.zoom.us/j/89639085713
14:50-15:00	休息
15:00-15:10	▪ 研究倫理講演 https://us02web.zoom.us/j/83518542357
15:10-15:50	▪ 基調講演 I 藤田 篤(国立研究開発法人情報通信研究機構) https://us02web.zoom.us/j/83518542357
15:50-16:30	▪ 基調講演 II 樋口耕一(立命館大) https://us02web.zoom.us/j/83518542357
16:30-16:50	▪ 総合討論 https://us02web.zoom.us/j/83518542357
16:50-17:00	休息
17:00-18:40	▪ 企劃発表 ・第1発表会場 https://us02web.zoom.us/j/85422044157 ・第2発表会場 https://us02web.zoom.us/j/83969173227 ・第3発表会場 https://us02web.zoom.us/j/83572511608 ・第4発表会場 https://us02web.zoom.us/j/89639085713 ・第5発表会場 https://us02web.zoom.us/j/83518542357
18:40	▪ 閉會 https://us02web.zoom.us/j/83518542357

* 該当するURLをクリックし、ご入場ください。

お問い合わせ：郭銀心(學術副會長) 010-9444-5230

<研究倫理講演>

15:00-15:10

司會: 朴江訓(全州大)

연구자를 위한 연구윤리교육
研究者のための研究倫理教育

盧姪鉉(德成女大)

<基調講演 I >

15:10-15:50

司會: 孫榮爽(濟州大)

機械翻訳のしくみ、翻訳との違い

藤田 篤(国立研究開発法人情報通信研究機構)

<基調講演 II >

15:50-16:30

司會: 孫榮爽(濟州大)

多言語に対応した計量テキスト分析ソフトウェア KH Coder
—アンケート自由回答の分析から言語学的分析まで—

樋口耕一(立命館大)

〈一般発表〉

第1発表会場

▣ 文法・語彙

座長: 鄭相哲(韓國外大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
12:10-12:50	朴鍾升 (江陵原州大)	「~になる」와 「~となる」의 차이 -코퍼스를 기반으로- 「~になる」と「~となる」の違い -コーパスをベースにして	韓	方允炯 (水原大) 李受香 (嘉泉大)	權城 (Hanbat大)
12:50-13:30	坂口清香 (國民大)	重複表現『~化になる』に関する考察	日	林禎映 (全南大) 伊藤沙智子 (韓國外大)	文彰鶴 (韓國外大)
13:30-14:10	金良宣 (嶺南大)	문장체에서의 「そして」의 의미용법 -한국어 대응을 중심으로- 文章体での「そして」の意味用法 -韓国語との対応を中心に-	韓	全紫蓮 (慶尙大) 殷守希 (淑明女大)	趙宣映 (仁川大)
14:10-14:50	落合由治 (淡江大)	テキストマイニングから見た 質的日本語研究の可能性	日	鄭賢兒 (西京大) 李忠奎 (西原大)	南得鉉 (明知專門大)
14:50-15:00	休息				
15:00-15:10	研究倫理講演				
15:10-15:50	基調講演 I				
15:50-16:30	基調講演 II				
16:30-16:50	総合討論				
16:50-17:00	休息				

第2発表会場

□ 社会言語学

座長: 洪珉杓(啓明大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
12:10-12:50	橋谷萌賀 申憲慧 金昭喜 (高麗大)	芸能人の授賞式に見られる 「ほめ」の返答の日韓比較	日	張良光 (Catholic大) 岩井朝乃 (弘益大)	李恩美 (明知大)
12:50-13:30	李受美 (高麗大)	한·일 비즈니스 드라마에서 나타나는 의뢰표현 형식별 대조연구 韓日ビジネスドラマで現れる 依頼表現の形式別に関する対照研究	韓	持田祐美子 (平澤大) 張允娥 (延世大)	林始恩 (Seoul市立大)
13:30-14:10	金晞泳 (同徳女大)	現代日本語の「打ち言葉」の定義と特徴 - 「Twitter」のクローリングによる 「打ち言葉」の分析と共に-	日	金鍾完 (江原大) 鄭盛旭 (中央大)	郭銀心 (京畿大)
14:10-14:50	久屋愛実 (福岡女学院大)	広報紙等における英語語彙の運用に関する 自治体の意識	日	申佼珍 (白石藝大) 李奎台 (東京外大)	金修卿 (韓國外大)
14:50-15:00	休息				
15:00-15:10	研究倫理講演				
15:10-15:50	基調講演 I				
15:50-16:30	基調講演 II				
16:30-16:50	総合討論				
16:50-17:00	休息				

第3発表会場

■ 韓日対照と教育

座長: 趙大夏(Seoul女大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
12:10-12:50	李海湊 (慶熙大)	‘국가’의 말 -한일 코로나 위기 대처를 중심으로- ‘国家のことば’ - 韓日コロナ危機への対処を中心に-	韓	尹京愛 (嶺南大) 小松義貴 (Seoul大)	宋淑正 (中源大)
12:50-13:30	任炫樹 (帝塚山学院大)	韓日の対人コミュニケーションにおける 身体接触行動の一考察 - ドラマ『グッド・ドクター』(日韓版)を 資料として-	日	盧姓鉉 (徳成女大) 宋殷美 (白石藝大)	金義泳 (Hanbat大)
13:30-14:10	住田哲郎 (京都精華大)	マンガ翻訳に見る日韓両言語の翻訳不可能性	日	張惠先 (鮮文大) 崔少榮 (韓國外大)	李禮安 (濟州大)
14:10-14:50	柳原恵津子 (国立国語研究所)	平安時代漢文日記における和化漢文の 学習過程について - 藤原忠実『殿曆』の漢字仮名交じり 表記文を例に-	日	飯干和也 (祥明大) 具明會 (韓國科學技術院)	崔眞姬 (白石文化大)
14:50-15:00	休息				
15:00-15:10	研究倫理講演				
15:10-15:50	基調講演 I				
15:50-16:30	基調講演 II				
16:30-16:50	総合討論				
16:50-17:00	休息				

第4発表会場

▣ 日本語教育

座長: 関光準(建國大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
12:10-12:50	任ジェヒ (立教大) 野田尚史 (国立国語研究所)	韓国語を母語とする日本語学習者の読解における推測ストラテジー	日	相澤由佳 (聖潔大) 本多美保 (梨花女大)	朴京愛 (建國大)
12:50-13:30	千仙永 (東京大)	アクセントの実践的な学びによる日本語教師の意識変化	日	房賢嬉 (東北学院大) 李敬淑 (亞洲大)	金志宣 (梨花女大)
13:30-14:10	及川ひろ絵 (弘益大) 尹熙子 (韓國外大)	継承日本語教育における歴史教育の必要性 - 「朝鮮通信使」をテーマとした 活動実践を中心に-	日	寺田康平 (弘益大) 趙恩英 (釜山外大)	成玟珂 (祥明大)
14:10-14:50	恩塚千代 (大阪体育 大学浪商) 森口稔 (京都外大) 王崗 (深圳大) 鄭惠先 (北海道大)	充分な見出し語数を有する学習者向け 日日辞典のコンセプト提案	日	檢校裕朗 (極東大) 劉맑음 (Catholic關東 大)	張根壽 (祥明大)
14:50-15:00	休息				
15:00-15:10	研究倫理講演				
15:10-15:50	基調講演Ⅰ				
15:50-16:30	基調講演Ⅱ				
16:30-16:50	総合討論				
16:50-17:00	休息				

〈企劃發表〉

第1發表會場

▣ 言語景觀〈人,地域,国の融合を目指して〉

座長: 朴才煥(京畿大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
17:00- 18:40	李慈鎬 (慶北大)	日本関連飲食店のネーミング -3個所の大学周辺の調査-	日	助川泰彦 (東京国際大) 今村圭介 (東京医科歯科大) 斎藤敬太 (津田塾大)	李舜炯 (慶北大)
	李舜炯 李賢貞 (慶北大)	日韓隣接地域における言語景觀の 言語接触研究	日		
	Daniel Long (東京都立大)	北海道における文化的観光資源としての言語 -言語景觀で活用される北海道方言とアイヌ語-	日		
	李承珉 孫美貞 (慶北大)	言語景觀に見るオーバーツーリズム	日		
	磯野英治 (名古屋商科大)	言語景觀の教材化と教育実践 -ビデオ教材・教科書の活用について-	日		

第2發表會場

▣ データマイニング

座長: 李範錫(Catholic大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
17:00- 18:40	李竣瑞 (聖潔大)	빅데이터 기반 다중언어 문화이미지 프레임망 구축구상 ビッグデータ基盤多重言語文化イメージの フレーム網構築構想	韓	尹榮珉 (延世大) 申雄哲 (慶星大)	李竣瑞 (聖潔大)
	金惠娟 (聖潔大)				
	尹有貞 (京畿大)				
	林尚諄 韓京洙 (聖潔大)				

第3発表会場

■ 日韓コミュニケーション研究会/韓国OPI研究会

座長:金玉任(誠信女大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
17:00-18:40	渋谷雅円 (立命館Asia太平洋大)	大学の日本語教育における ラーニングブリッジの必要性 -韓国留学生を対象に-	日	朱睨淑 (高麗大)	中島忍 (大邱Catholic大)
	藤田智彦 (国際交流基金Seoul日本文化Center)	韓国人中等日本語教師と日本語ネイティブとのエクステンジスタディーの試み	日	小松奈々 (高麗大)	
	川口慶子 (崇實大) 小島堅嗣 (培材大) 後藤歩 (Hanbat大) 迫田亜希子 (明知大)	韓国におけるACTFL-OPIに関する 研究の動向	日	持田祐美子 (平澤大)	

第4発表会場

■ 韓国日本語研究会 <新進研究者博士學位論文発表> 全體司會:姜錫祐(Catholic大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
17:00-17:40	權槿玲 (高麗大)	日本語における主観性及び間主観性の考察 -省略と明示を対象として-	日	金廷珉 (亞細亞大)	朴江訓 (全州大)
17:40-18:20	指定討論及び自由討論				

第5発表会場

■ 日本語教育実践

座長:李暻洙(放送大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
17:00-18:40	金蘭美 (横浜国立大)	作文支援システムで必要な「支援」について -メール文に焦点を当てて-	日	中村有里 (仁川大) 國生和美 (東國大)	金玄珠 (Hanbat大)
	橋本直幸 (福岡女子大)	日本語教科書読み物データベースと 話題別多読システムの構築に向けて	日		
	金庭久美子 (立教大)	日本語学習支援システムの変遷と展望	日		